

わが国と西欧との接触史(年表)

2013/5/15 加筆 I.Nishida
Richmond E.S.

奈良時代	7c - 8c	正倉院御物 (他、寺院建築、彫刻品にギリシャ、ローマの影響あり)	中国-唐の時代 欧州-ローマ帝国滅び、フランク王国
鎌倉末期	1299	マルコ・ポーロ、「東方見聞録」で日本を西欧に紹介。 「黄金の国」というほど富めるジパングに、なぜ商人マルコは足を延ばさなかったの？	中国-大蒙古帝国(西ヨーロッパまで拡大) 欧州-十字軍の時代 (キリスト教世界 vs イスラム世界) ルネサンス、宗教改革、大航海時代 ・1492-コロンブス、米到達 ポルトガル-西回、スペイン-東回りで東洋進出
室町末期	1543	ポルトガル人、種子島に漂着。鉄砲伝来	
	1549	ザビエル(日本人アンジローと一緒に)、鹿児島に上陸。キリスト教布教 (この頃には、東南アジア一帯に日本人町ができていた模様)	東南アジア日本人村で、日本人の、 葡人など西欧人との接触ありか？
安土桃山 (戦国時代)	1582	(信長、秀吉、南蛮貿易に興味、家康も) 九州のキリシタン大名(大友氏ら)天正遣欧少年使節団派遣 伊東マンショら4名、ローマ法王に謁見。1590年帰国。	
江戸時代	1600	ウィリアム・アダムス、日本に漂着。 最初の英人、日本に帰化(三浦按針)。家康の外交顧問となる。	ヨーロッパ各国、東洋進出(東インド会社設立) (英 1600, 蘭 1602, 仏 1604)
	1613	伊達政宗、慶長遣欧使節団派遣。 (支倉常長、メキシコ経由で渡欧。1620年帰国)	
(三代・家光)	1639	鎖国令の完成 (オランダを除き西欧との貿易禁止、日本人海外渡航、帰国の禁止) <1543年、ポルトガル人来航による初の西欧との接触後、100年のち鎖国>	1638 露、太平洋岸に達する
	1792	(露)ラクスマン、根室来航。 大黒屋光太夫が帰国。(光太夫、ペテスブルグで女帝エカチェリーナ二世に謁見)	1776 アメリカ独立宣言 1789 フランス革命
	1808	(英)フェートン号、長崎入港、狼藉事件 日本での英学の始まり(幕府、オランダ通詞に英語、ロシア語の学習指示) (3年後1811年、日本で最初の英和辞書完成)	<1808 - 間宮林蔵、樺太探検>
	1841	ジョン万次郎、アメリカ捕鯨船に救出される。10年後、沖縄経由で帰国	このころ、北太平洋で米英の捕鯨船の活動さかん。日本人難破漁民がかなり救助される。

1848 米人ロナルド・マクドナルド、利尻島に上陸。長崎送り。
蘭通詞・掘達之助森山栄之助らに英語教授。
堀、森山、5年後1853年、ペリー来航時に主席通詞となる。

1853 (米)黒船、浦賀に来航。翌1854年、日米和親条約締結
(ジョン万次郎、通訳からはずされる。← 万次郎の本当の英語力は?)

1856 蛮書調所(後、東京大学)の設置(西欧文物の研究)

1858 日米修好通商条約締結(後、露、英、仏などと締結)
<この年、井伊直弼、大老に就任。徳川家茂が将軍に。安政の大獄>

1859 横浜開港。諭吉、蘭学から英学に転向。(蘭学から英学へ時代の変わり)

1859 ジョセフ彦(最初の日本人の米帰化人)、帰国
(アメリカで米大統領とも謁見。日本で英字新聞「海外新聞」発刊)

列強各国からみて、日本は、無理に開国させ、通商する相手国として、または、軍隊を常駐して植民地化するほどに魅力ある国であったのか??→植民地化されなかった。
(資源や労働力を狙うのであれば、朝鮮半島、中国の方がもっと魅力的)

万延元年 1860 幕府遣米使節団(勝海舟、福沢、ジョン万次郎ら77名)咸臨丸で渡米
(桜田門外の変。井伊直弼殺害)

1861 幕府遣欧使節団(竹内下野守ら36名、大阪、兵庫、新潟などの開港延期交渉)

<このころ、長州、佐賀、薩摩などの雄藩が使節団、留学生を各国に派遣>
(長州藩、伊藤博文、井上馨、薩摩藩、森有礼 イギリス留学)

明治元年 1867 大政奉還。王政復古

1867 幕府遣仏使節団(パリ万博に参加)
(将軍慶喜の実弟、徳川昭武、渋沢栄一など)

明治4年 1871 岩倉遣欧米使節団派遣(2年間外遊)<団員60名、留学生50名>
(主要団員:大久保利通、木戸孝充、伊藤博文ら、西郷隆盛 not member)
<津田梅子(8歳)ら5人の女子アメリカ留学生も岩倉ミッションに同行>
(10年後、1891年に帰国)

明治政府の富国強兵、欧化政策

- ・お雇い外国人教師
- ・英語公用語化の動き(初代文部大臣・森有礼)
- ・正則英語授業
(明治英語達人:新渡戸稲造、岡倉天心、新島襄ら)

明治新政府の対外進出

- ・明治4 日清修好条規
- ・明治6 征韓論(西郷隆盛、板垣退助)
- ・明治7 台湾出兵
- ・明治8 江華島事件、翌、日朝修好条規

明治の 日本国憲法、五、日清修好条規

明治10年 1877 不平士族の反乱続発。西郷隆盛自刃。(西南戦争終わる)

明治政府 財政逼迫
・官立英語学校廃止
・お雇い外国人教師減少
・変則英語授業の始まり

1883 鹿鳴館完成

明治27年 1894 日清戦争

1900 夏目漱石、イギリス留学

明治34年 1904 日露戦争(翌明治35年、日英同盟締結)

明治44年 1911 関税自主権の回復。不平等条約の改正終わる
(列国との対等関係の自信を持つ)

大正3年 1914 第一次世界大戦

1924 米、排日移民法が成立

英語存廃論が高まる
・列国一員としてのナショナリズムの高まり
・日本人に対する英語授業法が確立できない
(英文学研究、教養英語に傾斜)

昭和13年 1938 国家総動員法が成立
昭和14年 1939 日米通商航海条約の破棄

= 英語暗黒時代 =
・「鬼畜米英」などの標語で国粹主義に国民を煽る
・スポーツ、文芸など各分野で英語排斥運動が起こる。

・反骨の英語学者 田中菊雄
・体制側の文学者 菊池寛

昭和16年 1941 日米開戦。1945年敗戦。

昭和21年 1946 「カムカム英語会話」放送開始

・アメリカの豊かな物質主義、個人主義、民主主義に感服
・明治以来の皇国マインドコントロールからの解放
・英語花盛りの時代へ

明治の開国以来、100年にして、「戦艦大和」、「ゼロ戦」を、また、戦後50年にしてアメリカに次ぐ世界第二の工業国と

英語花盛りの時代へ

- 1963 日本英語検定協会設立、第1回検定試験実施
- 昭和39年 1964 東京オリンピック開催

・高度成長経済の時代(モーレツ社員の時代)
 ・海外旅行ブーム
 ・米に次ぐ世界第2の経済大国に成長

- 平成以降 1989～ 「英語が使える日本人」論議
- 2010～ 英語を社内公用語とする企業の動き (楽天、ユニクロ、シャープ、武田薬品、アサヒビール、etc)
- 2011 小学校での英語授業必須化決定
- 2013 東京大学など有名大学が秋入学を検討(高校卒の4月から9月まで海外留学を奨励)
(大学入試に、TOEFLの導入是非の論議が出てくる)

してアメリカに次ぐ世界第二の工業国となりノーベル賞学者を輩出すほどく英語を通じて>欧米の科学技術文明を完全に消化・吸収した。

(されど、国際数学テストでは日本は世界でトップクラス、なのにTOIECでは世界最低クラス。この落差は?)

西欧文化と接触した日本人女性たち(おもいつくまま)

- ・ウィリアム・アダムスと日本女性の間に2人の子供
- ・長崎・出島のオランダ人と日本女性
- ・シーボルトとお滝さん(娘が日本で最初の女医)
- ・(米領事)ハリスと唐人お吉
- ・ラフガディオ・ハーンと日本人妻
- ・津田梅子、大山捨松ら女子米国留学生
- ・クーデンホーフ光子
- ・「ピーチブロッサムへ」の主人公(鈴木??)
- ・川上音二郎の妻、貞奴
- ・唐行さん(東南アジア各地(ex. サンダンカ館)、アフリカ、満州)
- ・ハワイ、アメリカ本土、南米への日本人移民と日本人女性
- ・(戦後)パンパン(駐留軍米兵を客とする街娼)

日本における英語の歴史(要約)

- ・1853年、黒船来航以来、たった150年の歴史。
- ・明治当初は、完全英語授業による正則英語授業
- ・明治10年後半ぐらいからは、変則英語教育に変質(文章の翻訳能力重視。→ 現在までにも続く)
- ・昭和の初めころより、英語存廃論が盛ん。
- ・昭和10年以降英語排斥、英語暗黒時代
- ・昭和20年以降、英語大フィーバー、大ブレイク
- <将来??>
- ・幕末までの「尊王攘夷」が明治維新で一気に「欧米崇拜」に。昭和20年を境に、「鬼畜米英」が一夜にして「アメリカさまさま」に変わった。日本人の変わり身の速さを見れば、100年後は、中国語が必須で英語は選択科目になっているかも。

=英語の勉強法=

- ・菱屋さんは何故、英語が達人なの？。モンゴルの相撲力士は何故あんなに日本語会話ができるの？ ← Immersion training
- ・明治英語達人たちはどんな風に勉強していたの？ 漱石がロンドンでノイローゼになったワケは？ ← 正則/変則英語教育

我々凡人はどうすればよいの？ → あきらめよう。達人にはなれない。されど、コツコツと”語楽”しよう。

(日・英の言語差 : 音 - phonetics, 文構造 - syntax, 意味 - semantics, 文化・社会背景 - socio-cultural background)

<明治以来、英語学習法が研究されてきたが確立された結論が出ていない。百家争鳴状態。>